



津田梅子にゆかりのある海外の地

梅子が日本から旅立った時に着ていた着物



大学時代の梅子のキャップとガウン



アメリカ合衆国^{がっしゅうこく}

2度の留学をはじめ、梅子が度々訪れた、第2の故郷ともいえる場所です。

●サンフランシスコ

1872（明治5）年、梅子たち女子留学生の乗った船が着いた場所です。ここからは陸路で、留学の地であるワシントンD.C. に向かいました。

●フィラデルフィア

近郊に、1889（明治22）年から3年を過ごした、梅子が2回目の留学で学んだ布林マー大学がある場所です。

●デンバー

1898（明治31）年、梅子が「万国婦人クラブ連合大会」に参加するために訪れ、日本の代表として、日本の女性の教育についてスピーチをした場所です。

●ワシントンD.C.^{ディーシー}

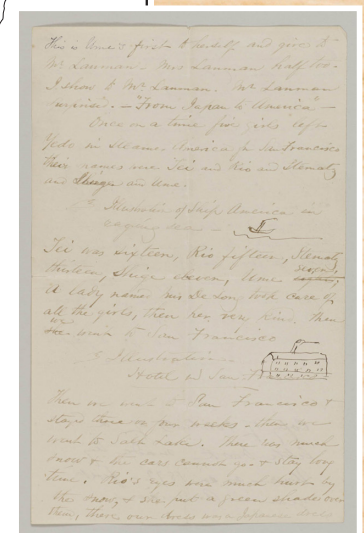
アメリカ合衆国の首都。近郊にランマン夫妻の家がある、梅子が1回目の留学生活を送った場所です。

イギリス

1898（明治31）年、梅子はイギリスの女性たちから招かれ、高等教育の現場を見学したり、オックスフォード大学の講義を聴いたりしました。

イギリスでは、ナイチンゲールとの出会いがありました。

0 2000km
(ただし、赤道上の長さ)



Ume's little book
アメリカ到着後、わずか9か月で
梅子が書いたもの